

FIN/SUM2024 初日閉会挨拶

井林内閣府副大臣

令和6年3月5日

内閣府副大臣の井林辰憲です。本日はフィンサム（FIN/SUM）2024の初日にご参加いただき、誠にありがとうございました。また、共催者としてご尽力いただいた日本経済新聞社にも感謝申し上げます。

<事業者への期待>

岸田総理や鈴木大臣からも言及がありましたように、日本が抱える社会課題を解決し、持続可能な成長を実現するためには、「金融」と「テクノロジー」の力が必要不可欠です。

テクノロジーの発展に合わせて金融の在り方が大きく変容する中で、本日は国内外から多様な専門家の皆様にお集まり頂き、AIやデジタル資産を中心にご議論を頂きました。

本日は、海外からも多くの方々にご参加いただいていると伺っておりますが、国内の方も含めてフィンサムに初めて参加頂いた方は、日本政府及び金融庁がフィンテックを通じたイノベーションの実現にこれだけ前向きであることに驚かれた方もいらっしゃるかもしれません。

勿論、利用者保護や金融システムの安定といった金融庁のミッションは時代やテクノロジーが変わろうと不変の目標であり、金融当局として不断の努力を続けていく所存です。

リスクへの対応とイノベーションは必ずしも対立するものではなく、これらを両立してこそ真に持続可能なイノベーションが実現するものと考えています。例えば、コンプライアンスの高度化に向けたAIの活用などテクノロジーでリスクの低減を目指

す取り組みも進展しており、更なる活用を期待しています。

<今後のFIN/SUM>

さて、FIN/SUMは今回で8回目を迎えましたが、本年はFIN/SUMを中核とし、様々なフィンテック関連イベントを集中的に行う「ジャパン・フィンテック・ウィーク」を初開催しています。明日以降も数多くの関連イベントの開催が予定されておりますので、残り3日間のFIN/SUMと共に、是非お楽しみください。

「ジャパン・フィンテック・ウィーク」は、日本のフィンテックの魅力の世界へ発信し、世界中のフィンテック・金融関係者を惹きつけ、お互いの見識を深め合い、関係を深化させる機会として、来年以降も継続して開催していきたいと考えています。関係各位との協働を通じて、国際的なフィンテックイベントとして定着していくことを期待しています。

最後になりますが、皆様の今後の取組を通じて、フィンテックが、社会課題の解決と経済の持続的成長に貢献していくことを祈念して、私からの結びのご挨拶とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。